



子供の 交通事故防止

夏休みは、一年中で子供の交通事故が最も多い時期です。楽しい夏休みが、一瞬の交通事故で、暗く悲しい毎日になっては大変です。みなさんで、子供を交通事故から守りましょう。

幼児・小学生の交通事故原因で最も多いのは、①とび出し ②車の直前・直後の横断 ③幼児の一人歩き ④道路上で遊びながら、などとなっています。また、自転車に乗車中の事故も多くなっています。道路上で自転車競走に夢中になって、交差点での除行や停止を忘れる姿が見うけられますが、これも大変危険なことです。狭い道路から広い道路へ出るときには、一時停止をしたり、正しい方法で右折するなど、子供に自転車の正しい乗り方を教えましょう。

夏休みのこの時期は、近所の方々が協力しあって、危ない遊びの子供を見たら注意をするなど、事故の防止に努めましょう。

夏は、青少年の非行が増えるときです。長い夏休みという解放感から、生活が不規則になり、非行に走るものと思われれます。最近の青少年非行事件を見ると、家庭での無関心さが、背景にある場合が特に多いです。地域社会が、子供たちに良い環境を与えたとしても、家庭での対話やしつけなどがなければ、なんにもなりません。子供に必要なのは、温かい家庭なのです。

非行化を防ぐ!!

考えたい「家庭」のありがた

そこで、夏休みの非行化を未然に防ぐために、補導された青少年の話をも、参考までに書いてみました。

補導少年の話から
弟たちはおどおどするし、憂うつになって家にいるのがつらい。
▼「近ごろの子供は……」とか「お父さんの若いころは……」などと、すぐ言うが、時代も変わって

このように、ネズミ算的に会員が増えるわけですから、理論上、またたく間に世界の人口よりも、会員が多くなってしまいます。つまりネズミ講は、早く講に入った人だけを得をして、大多数の人々は必ず損をするしくみになっているのです。

花火の注意

- ①花火に書いてある遊び方を、よく読んで必ず守る。
- ②花火を人や家に向けたり、燃えやすい物のある場所で遊ばない。
- ③風の強いときは、花火遊びをやめる。
- ④大人といっしょに遊ぶ。
- ⑤水を用意してから。
- ⑥吹出しや打上げなど筒物花火は、途中で火が消えても筒をのぞかない。
- ⑦花火をポケットには入れない。
- ⑧たくさんの花火に、一度に火をつけるのは危険。
- ⑨花火をほぐして遊ぶことは、絶対しない。

るのだから、意見が合わないときがあっても、親の考えを一方的に押しつけないでほしい。
▼怒ってばかりいないで、たまにはほめてもらいたい。
▼「勉強」勉強「勉強」といってばかりいないで、勉強がやれるようにしてほしい。
▼自分かつてなことばかり言わないで、子供の気持ちもわかってほしい。
▼「勉強」勉強「勉強」といってばかりいないで、勉強がやれるようにしてほしい。
▼「勉強」勉強「勉強」といってばかりいないで、勉強がやれるようにしてほしい。

うまい話にご用心

＝ネズミ講の落とし穴＝

ネズミ講をご存知ですか？ 甘いさやきで、またたく間に全国にはびこる一方、今日も悲しい知らせが届いています。ひと口にネズミ講といっても、いろいろな種類があり、手口は巧妙を極めます。しかも自分からは「ネズミ講です」とは決して言わないので、つい話のついでに言います。ネズミ講には、次のような特徴的な点があります。例えば、講(コース)に加入すると、一定金額を講の本部や先輩会員に送金するよう指示されます。また、講に加入すると、最低二名の新規会員の勧誘・加入が義務づけられます。次に勧誘・加入させた自分の子会員が、さらに孫会員を勧誘・加入させ、これがある段階まで進み、自分の子孫会員が一定数に達すると、講の本部もしくは子孫会員から、自分のところに送金されてきます。

この世の中に、うまい話はそうあるものはありません。送金して、二人を勧誘・加入させるだけで、出した金額の五〇倍以上ものお金が送金されてくるなんて、あまりにもうまい話だとは思いませんか。

ネズミ講は必ず破たんします。非生産的でかけの、社会に何の富もたらしません。大切な友人関係や親類との信頼関係などを破壊し、悲劇を生むものになるばかりです。ネズミ講の被害にあわないように、うまい話の正体を見破りましょう。